事業名（１）法に基づく障害福祉サービス事業及び地域生活支援事業

**平成３０年度　多機能型事業所ぷろじぇくとＰｌｕｓ**

**事業報告**

**就労継続支援Ａ型事業『あくと』**

**【はじめに】**

　事業開設から３年目となった平成３０年度は、報酬改定により、利用者の就業時間の月平均で基本報酬が決定することとなったため、利用者の就業時間数確保が課題となっていた。様々なニーズに対応すべく、『あくと』開設当時からのコンセプトの１つでもあったスポット的な就労形態は残しつつも、一定程度の時間数を働いていただける就労形態も創設してきたが、目標には達成できず、更にクリーニング業務のオフシーズンの業務開拓を行うことができず、平成３１年度へ課題を持ち越す結果となってしまった。

　平成３１年度は、クリーニング業務のオフシーズンの業務開拓はもちろん、公共施設の植樹管理などの役務作業を視野に入れて城崎の仕事の合間（日中）での新規業務の開拓を行っていくこととし、利用者の就業時間数及び収入アップに努め、ひいては、翌年度の基本報酬単価のランクアップを図る。

　そして、ただ仕事量を増やしていくだけではなく、利用者にも参画していただく形として委員会活動を実施し、主体性及び責任感の醸成とともに更なるスキルアップを図っていくこととする。

　**１．活動（支援）実績**

　　①　就労の機会の提供及び就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等の提供

施設外就労として、城崎温泉旅館組合加盟の旅館から食器洗浄や客室清掃などの業務、地域のクリーニング業者から布団たたみ・包装業務を請け負い、障害者と支援者のユニットで業務を遂行。

　②　委員会活動

　　　利用者に主体性及び責任感を持って仕事に取り組んでいただき、より一層のスキルアップを図ることを目的として委員会活動を実施。

　　　・技術力アップ委員会　・接遇力アップ委員会　・常識力アップ委員会

　③　全体ミーティング

　　　施設外就労業務が多岐にわたる中、より一層のスキルアップ及びモチベーションの向上を図るため、業務受託元企業から受けている評価や課題を利用者全体で確認した。

　④　余暇活動

　　　新規利用者の歓迎と卒業者を労うことを兼ねて、利用者全体の交流を図るための歓送迎会を行った。

　⑤　就労支援

障害者就業・生活支援センターとの連携のもと、利用者１名がスーパーマーケット（総菜部門）に就職。

　⑥　健康管理

　　　定期健康診断を実施。



**２．運営の実績**

　　①利用定員　１０人

　　②利用状況（月別登録利用者数）

　　　****

③事業収益

（税込み）

　【収入の部】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　

受託収入　　　　　　　　　　　　８，２７７，１５３円

　　　　その他下請け加工作業収入　　　　　　　　４，３１０円

　　　　合計収入　　　　　　　　　　　　８，２８１，４６３円

　　　【支出の部】

（税込み）



支出金額　　　　　　　　　　　７，７５０，０６５円（利用者賃金）

収支差額　　　　　　　　　　　　　５３１，３９８円（交通費、保険料、消費税等）

**３．職員体制**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 職　種 | 管理者 | サービス管理責任者 | 職業指導員 | 生活支援員 | 賃金向上達成指導員 |
| 人　数 | 常勤兼務１名 | 常勤兼務１名 | 常勤専従２名 | 常勤専従１名 | 常勤専従１名 |

**４．職員の資質向上**

　　適切な利用者支援ができるよう、毎月職員研修を行い、外部研修等にも参加。

　　【外部研修】

　　　・平成３０年度　障害者就労支援研修～『地域の就労支援力』を高めるために～

　　　・訪問型職場適応援助者（ジョブメイト）養成研修

　　　・サービス管理責任者等ブラッシュアップ研修

　　　・就労系障害福祉サービスの利用に係るアセスメント運用研修

　　　・愛着障害の理解と支援

**就労継続支援Ｂ型事業『せるくる』**

**【はじめに】**

　平成３０年度は、利用者の増員を目指し、積極的に見学及び体験利用の受け入れを行った。また、それに伴い、利用者の生産活動の充実及び工賃向上を目的として、下請け加工作業（主に鞄内職作業）の拡充を行い、自主製品については、『道の駅　神鍋高原』での常置販売、豊岡短期大学学園祭での販売などバザー販売を継続してきた。その結果、利用者は定員の１０名まで増員することができ、工賃月額は、毎日出勤される方で概ね１０，０００円以上をキープしており、平均工賃月額も１０，０００円を超えることができた。しかしながら、兵庫県の平均工賃月額には達していない状況であり、利用者の増加と併せて授産収入を増やしていく必要があるため、今後も下請け加工作業の拡充を行い、自主製品についてもバザー販売等積極的に参加を行うことで更なる工賃の向上を図っていきたい。

　せるくるの利用者についてはコミュニケーション面を課題とする方が多いため、平成３１年度は対人スキルの向上や社会参加の機会の拡充を図り、将来に向けての社会的自立にもつなげていける様支援の充実を目指すこととしたい。

　**１．活動（支援）実績**

　　①　就労の機会の提供及び生産活動の提供

下請け加工作業を７社の製造業者から請負うことで安定した作業環境を確保し、また、事業所独自の製品開発を行い、地域のイベントなどへの参加や地域の道の駅で常置販売することで、売上の向上を目指し工賃の向上を図った。

　②　地域との交流（地域団体やボランティア等と交流する施設行事の実施）及び余暇活動

・豊岡市障害者(児)スポーツ・レクリエーション教室等開催事業のクリスマス会参加

・地域のイベントでの出店及び会場内の散策

・事業所所在地域が管理する県有プランターへの花植え

　　　・調理活動（年２回）

　　　・がっせぇアート展見学（利用者１名が作品出展）及び外食

③　健康管理

　　　定期健康診断を実施

　

**２．運営の実績**

①　利用者定員　１０人

②　利用状況

****

③　事業収益

（税込み）

【収入の部】

下請け加工収入　　　　　　　８５０，０２０円

自主製品売上収入　　　　　　１２７，１６２円

合計収入　　　　　　　　　　９７７，１８２円

　　【支出の部】

平均工賃月額　　　１０，６４６．９円

人件費（利用者工賃）　　　　８８３，６９７円

諸経費（原材料費、燃料等）　　９３，１９２円

**３．職員体制**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 職　種 | 管理者 | サービス管理責任者 | 職業指導員 | 生活支援員 | 目標工賃達成指導員 |
| 人　数 | 常勤兼務１名 | 常勤兼務１名 | 常勤専従１名 | 非常勤専従１名 | 常勤専従１名 |

**４．職員の資質向上**

　　適切な利用者支援ができるよう、毎月職員研修を実施した。

**就労定着支援事業**

平成３１年１月に事業開設。これまで『あくと』、『せるくる』合わせて４名の就職者を送り出してきており、その方々の定着支援を皮切りに事業をスタートする予定であったが、転職や退職をされた方がおられるなど、現時点では利用される方がいない状況となっている。

今後一般就労に移行される方には、在籍中から本事業についての説明や紹介を行うことはもちろんのこと、就職後の支援を見据えた関わりや就職後６か月間の支援をより一層強化することで、利用者の確保に努めていくこととする。

**職員体制**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 職　種 | 管理者 | サービス管理責任者 | 就労定着支援員 |
| 人　数 | 常勤兼務１名 | 常勤兼務１名 | 常勤兼務１名※職場適応援助者養成研修修了者 |